

令和6年度在南米・在北米被爆者健康相談等事業の実施について

1 要旨・目的

在外被爆者の健康保持及び増進を図るため、在外被爆者健康相談等事業を南米及び北米で実施する。

2 現状・背景

本県が国から受託し、一般社団法人広島県医師会等の協力を得て、南米・北米で実施している。

3 概要

(1) 対象者

在南米・在北米被爆者

(2) 事業内容

ア 実施内容

- ・現地医療機関での事前健康診断
- ・日本から派遣された医師による健康相談
- ・行政職員による行政相談
- ・今後の事業実施に関する協議 等

イ 実施都市

バンクーバー（カナダ）、ロサンゼルス（アメリカ）、サンパウロ（ブラジル）

ウ 派遣団

医師 4名	まつむら まこと 団長 松村 誠	広島県医師会会長 医療法人松村循環器・外科医院理事長
	みょうが ひろし 茗荷 浩志	広島県医師会常任理事 医療法人和同会五日市幸楽苑 施設長
	ひやま けいこ 檜山 桂子	広島県医師会常任理事 医療法人社団福原医院 院長
	しげの まさや 重野 賢也	日本赤十字社長崎原爆病院副院長
県職員 4名	健康福祉局長ほか3名	

(3) 訪問期間

令和6年10月8日（火）～10月22日（火）

(4) 予算（国庫）

58,490千円

4 その他（関連情報等）

ロサンゼルスでの健康相談等事業に併せて、現地で実際に被爆者に接する医師等を対象とした「被爆者医療研修会」を実施する。（放射線被曝者医療国際推進協議会（HICARE）主催）

【講師】

- ・かみや けんじ 神谷 研二 HICARE 会長、放射線影響研究所理事長
- ・松村 誠 広島県医師会会長【再掲】
- ・北原 加奈子 広島県健康福祉局長【再掲】